

第6回仙台医療センター

健康まつり開催



健康づくりの輪を広げよう ～地域の皆さまと共に～

将来を見据えた体験

10月29日(土)、「第6回仙台医療センター健康まつり」を開催しました。当日は、雲ひとつない爽やかな秋晴れとなり、これまでに最高の1,600名を超える多くの方々にご参加いただきました。

10時からのオープニングセレモニーでは、和田院長の挨拶後に伊達武将隊が参上し、「仙台医療センター健康まつり、いざ出陣じゃ〜!」の掛け声で健康まつりがスタートしました。引き続き、看護助産学校体育館で迫力ある演武が披露され、観客を魅了していました。

今回は例年の「手術室体験」「救急蘇生体験」「手洗い体験」に加え、「内視鏡で胃腸をのぞいてみよう」「超音波検査装置で中身を見てみよう」「磁場ってなんだ? X線でどこまで見える?」などの職業体験できるコーナーも設けました。いずれも盛況で、参加された中高生からは「とても良い経験になった。将来に向けて生かしたい」との感想をいただき、職業を考える上で貴重な体験になったのではないかと思います。



順番待ちに長蛇の列

癒し・検査コーナーでは、「骨密度測定」「頸動脈エコー、血糖値、血管年齢検査」「ハンドマッサージ」等を行いました。いずれのコーナーも順番待ちの長い列となり、希望された方すべてに行うことができず、大変ご迷惑をおかけしました。

院内ステージの「V.S.O.P (職員によるバンド) コンサート」「ピアノと森のなかまたちコンサート」や健康講話「脂肪と肝臓病(鶏飼消化器科部長)」「お薬ができるまで(諏江薬剤科長)」では、皆さん真剣に耳を傾け、またFishパネル展「震災における当院の活動状況」「各職場の七夕飾り」は多くの方に見ていただきました。



健康の意識高まる

14時に田所副院長の挨拶で閉会しましたが、アンケートでは、「充実した内容で大変満足して帰ります」「健康への意識が高まった」「病院のイメージが変わりました」「もっと時間を長くして欲しい」などのご意見をいただき、私たちスタッフも大変嬉しく感じています。

最後になりましたが、HIVコーナーで共催いただいた「宮城野区保健福祉センター」、ボランティアで参加いただいた「仙台ビューティーアート専門学校」「ホスピタルクラウン」「宮城教育大学ありんこ」「おはなしクレヨン」の皆様をはじめ、スタッフとして健康まつりを準備し盛り上げた多くの職員と看護学生、関係者の方々並びに参加してくださった地域の方々々に心より感謝申し上げます。

(文責 健康まつり実行委員 経営企画室長 橋場 美紀)



筆細工体験



リラクゼーション



血管年齢チェック



放射線科体験



キッズ・チアダンス



森の仲間達コンサート



V.S.O.Pコンサート



健康相談



健康講話

たくさんの人に喜んでもらいました。

10月29日(土)に開催した、「第6回仙台医療センター健康まつり」。

たくさんの方々に来院していただき、健康まつりを楽しんでいただき、喜んでもらいました。

これからも、人に喜んでもらえるよう、職員一同、病院を良くしていきます。



内視鏡体験



血糖値測定



手術室体験



手術室体験



HIVコーナー



頸動脈エコー検査



ベビーマッサージ



手洗い体験



パネル展



救急蘇生体験



骨密度測定



調剤体験



名刺を作る



イリヨビョン